

留萌市げんきの森2年目以降の活動

平成17年度に設定した留萌市のげんきの森では、翌年以降も、市立東光小学校3学年が積極的に植樹・育樹の体験や森のはたらき学習など、以下の活動を行っています。

平成18年7月20日(木) 参加人数62名

- (1)シイタケほだ木の育成管理
- (2)樹木の葉っぱあてゲーム



平成18年8月31日(木) 参加人数63名

- (1)トドマツ枝打ち作業体験

平成18年10月26日(木) 参加人数63名

- (1)シイタケほだ木の育成管理
- (2)クラフト創作活動

平成19年5月16日(水) 参加人数63名

- (1)森のお話
- (2)シイタケほだ木への植菌作業

平成19年6月15日(金) 参加人数63名

- (1)ミズナラなど植樹活動
- (2)巣箱づくり



平成19年7月19日(木) 参加人数63名

- (1)シイタケほだ木の育成管理
- (2)樹木学習

平成19年8月21日(火) 参加人数63名

- (1)トドマツ枝打ち作業体験
- (2)測高器操作及び目視による樹高測定

平成19年10月18日(木) 参加人数63名

- (1)シイタケほだ木の育成管理
- (2)クラフト創作活動

平成20年6月19日(木) 参加人数62名

- (1)ミズナラ、アカエゾマツなど24本植樹
- (2)樹木、森のはたらき学習

平成20年9月4日(木) 参加人数62名

- (1)トドマツ枝打ち体験
- (2)チェーンソー除伐作業の実演観察

森林教室実施時には、報道(NHK テレビ)機関の取材があり、活動状況が当日の昼夜2回にわたってテレビ放映がされました。



平成21年度

平成21年6月19日(木) 参加人数50名

(1)カミネッコン組み立て、植樹

講師から、ダンボールで作られた市販キットの説明を聞いた後、児童たちは、早速組み立てにかかりました。ガムテープで固定するなどの補強をしてできあがりしました。

その後、げんきの森に移動し、植樹方法の説明を聞いた後、児童たちは、3人一組でカミネッコンに土を入れた後、苗木を入れ、ふたを被せて出来上がりです。苗木を入れたポットは、予め決めていた場所(14ヶ所)にそれぞれ7個置き、周囲にウッドチップを被せ植樹は完了しました。

当日は、カシワ、ケヤマハンノキなど4樹種合計100本の苗木を植えました。



平成21年7月14日(火) 参加人数50名

(1)トドマツ枝打ち体験

(2)丸太切り体験

平成22年度

平成22年6月25日(金) 参加人数53名

(1)森のはたらき学習

児童たちは配布資料「森林すごろく(道水産林務部編集)」を手に、講師から、森林の柔らかい土が、雨水を吸収・貯蔵し、濾過しながら少しずつ川に流していく機能を『水源かん養』といいます。また、自然災害の防止、二酸化炭素の吸収・固定、動植物の生息の場や森林資源の供給など、森のはたらきを学びました。

(2)植樹体験

げんきの森に移動した児童たちは、講師から植樹方法の説明を聞いた後、早速、カミネッコンを手にし、樹高 50~80 cm程度のハルニレ苗木など一本ずつと、培養土を入れ、締め固めた後ふたを被せ、予め決めていた14ブロックに7個ずつ置き、周囲にウッドチップを被せて植樹を完了しました。

なお、当日はハルニレのほか、ケヤマハンノキ、ヤマグワ、イタヤカエデやハシドイなど5樹種合計126本を植栽しました。

※この体験で使用した資材(カミネッコン 100 個)及び苗木(苗木 100 本)は、北海道電力(株)留萌営業所が地域貢献活動の一環として提供され、また、当日は社員5名が出席し植樹指導なども行いました。



写真上:用意した5種類の苗木。
児童たちが、カミネッコンに土と苗木を入れる様子(写真下)。



平成22年7月15日(木) 参加人数52名

(1)下草刈り作業体験 「げんきの森」内の植栽地にて

(2)枝打ち・除伐作業体験 「げんきの森」内の天然林にて